

くじゅう連山

四季折々の魅力

くじゅう連山は大分県にあり、東西 15km に分布する 5 つの山脈で、阿蘇カルデラの北部に位置します。くじゅう連山の中でもっとも高い山は九州本土最高峰でもある中岳 (1,791m) です。その他の人気の山は、久住山 (1787m) と、原生林に覆われている黒岳 (1587m) です。絶景が楽しめる散策ルートが山々を横断し、多様な地形を探索する機会を提供しています。

1934 年にこの地域は、固有の火山の風景、広大な草原、そして絶景がそろう阿蘇くじゅう国立公園の一部として指定されました。くじゅうは、国籍問わずの登山者の間に、四季の変化を一年中楽しめるエリアとして人気があります。ここは火山地域であるため、豊富な地下温泉があり、優れた温泉施設があります。

くじゅうは自然愛好家に人気のある場所で、どの季節でも楽しむことができます。冬には、この地域はしばしば雪の毛布で覆われ、枝や草に霜がつきます。春には、広大な自然は花畑に変わり、5 月上旬から 5 月下旬にかけてツツジの花が咲き乱れ、多くの人々がこの地域を訪れます。夏は登山シーズンのピークです。特に 8 月は、野生の花が咲き乱れ、多くの蝶や他の昆虫が集まり、バードウォッチングにも最適です。秋には、緑豊かな風景はオレンジ色、金色、赤色など、さまざまな色合いに変わり、ここに生えているカエデや檜の木などの落葉広葉樹林は紅葉になります。紅葉の色の鮮明度は、温度によって毎年変わり、同じ場所であっても年によって異なる紅葉風景が楽しめます。